

神戸市営

## 狩口住宅

1985  
~88

当団地は、神戸市垂水区の東南端、明石市との市境に進められた、「狩口住宅街区整備事業」地区内の建替事業による公営住宅団地である。

周辺の住宅地からは高く、南下がりの敷地で、南方には明石海峡を隔てて淡路島が見える。

全体構成は、方位に対して45度の住棟配置により囲まれた、領域性の高い共用空間（コモンスペース）を持つ、戸数約70~90戸のクラスター単位により構成されている。

又、この45度の住棟を採用することで、周辺住宅地に直接対面することを避け、又、雁行住棟を多用することで、住宅地内外の空間に変化を与えている。

住戸・住棟は、階段室型の中層住棟であるが、標準住棟、雁行住棟、コーナー住棟（3戸1階段）と配置の形態と、街なみの形成条件によって、組み合わせられている。

又、勾配屋根と陸屋根を併用し、変化のあるスカイラインを演出している。



■検討模型



■住棟に囲まれたコモンスペース



■配置図